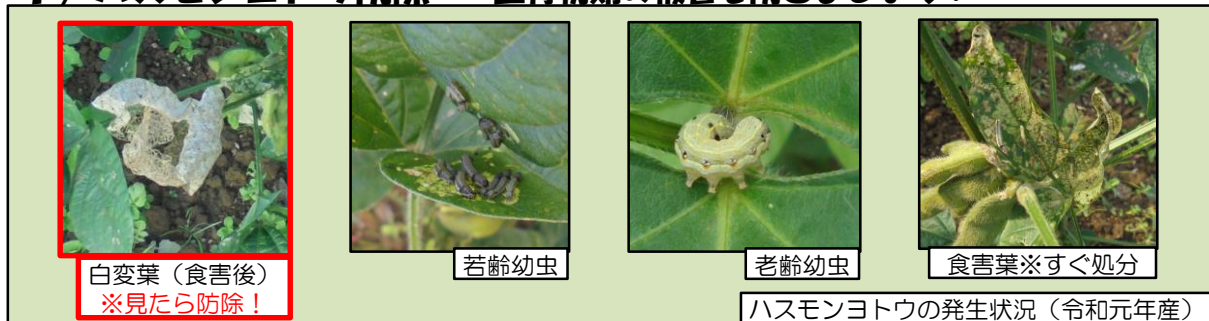


# 3. 生育期の管理作業（中編）

本年産大豆は播種期が遅く、栽培期間中の生育量確保が課題となっています。  
生育期間中の害虫・雑草対策を的確に行い、収量・品質の向上を図りましょう！

## 1) ハスモンヨトウ防除 ～生育初期の被害を防ぎましょう！～



ハスモンヨトウの発生状況（令和元年産）

薬剤名	散布時の注意		使用上の注意		(参考) 散布量別使用量			
	使用量/10a ・希釈倍率	散布量/10a	使用時期	回数	希釈倍率	散布量/10a		
プレバソフロアブル	4000倍	100～300L	収穫7日前まで	2回以内	100L	200L	300L	
トルネードエースDF	2000倍				50ml	100ml	150ml	
					25ml	50ml	75ml	

### ポイント

- ①速やかな殺虫剤散布が被害防止の第一歩 **※増え始めたら止まりません！**
  - ・ハスモンヨトウの幼虫はごく短い間に成虫となり、産卵を始め増えていきます。
  - ・防除が遅れると、圃場内に成虫と幼虫（卵）が混在し被害が増えるばかりです。  
**白変葉に注意し適期（早期）に防除を行い、被害を抑え込むことが重要です。**
- ②食害されている葉は圃場外に持ち出し処分 **※発生直後をまとめて駆除できます！**

## 2) 生育期の雑草防除 ～収穫まで大豆の生育を妨げます！～



大豆圃場の雑草（令和元年産）※広葉のみ

(参考) 大豆生育期に散布する除草剤

**※アサガオ類、ホソアオゲイトウにはアタックアショット乳剤を！**

薬剤名	対象 雑草	散布時期	散布時の注意	使用上の注意
			薬量/10a	使用時期
アタックショット乳剤	広葉	雑草生育初期～大豆播種後約14日目	30～50ml	収穫45
大豆バサグラン		雑草生育初期～6葉期	100～150ml	日前まで
ポルトフロアブル	イネ科	イネ科雑草3～10葉期	200～300ml	収穫30 日前まで

(3剤とも散布量は100L/10a、圃場での使用回数は1回のみ)

### ポイント

- ①除草剤は雑草に直接かかるよう散布
- ②散布は「生育の進んだ雑草」基準で実施 **※油断すると効かなくなっています！**
  - ・アサガオ類、ホソアオゲイトウが多い圃場では  
(1回目) 大豆播種後約14日目までにアタックショット乳剤  
(2回目) 1回目の約7日後に大豆バサグラン  
の体系処理が有効です。